

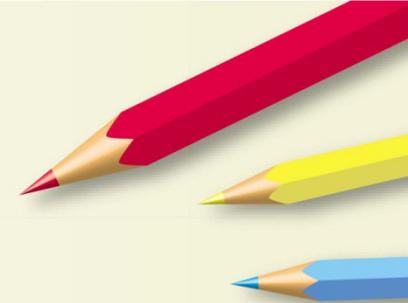
経口吸収FG (Focus Group on Oral Absorption)

・ 活動目的

『経口吸収』が関与する研究分野は幅広く、基礎(吸収に関わる生理学的要因や膜透過機構など)に加えて経口投与を伴う医薬品に関する臨床開発(製剤化技術や生物学的同等性など)や薬物動態(個体内・個体間変動や薬物相互作用など)、あるいは機能性食品の経口吸収や製剤化など多岐にわたります。そこで本FGでは、他のFG等と広く連携を図りながら、薬剤学における『経口吸収』研究を活性化し、世界的に新しい潮流を興すような研究の創生ならびに研究者の育成を行うことを活動目的としています。



経口吸収FGの主な活動内容



• 経口吸収FG合宿討論会（過去5回開催）

合宿形式の討論会とすることで、普段の学会やシンポジウムとは異なる雰囲気参加者が熱く討論することができる。また、年齢や立場の垣根を越え顔見知り程度の関係から同じ分野を志す好敵手になる。

• シンポジウム（薬剤学会・薬学会などにて開催）

日本薬剤学会や日本薬学会の年会において経口吸収FG主催のシンポジウムを企画運営する。今後は更に積極的にFGが主となって関連学会におけるシンポジウムなどの企画運営に参画する（年会連動型）。

• ラウンドテーブル(RT)（日本薬剤学会年会）

経口吸収FG所属メンバーが立案したRTを全力でサポートする。

※第30年会においては下記テーマが採択されています。

「過飽和を利用した難溶性薬物の製剤化技術：現状と今後の展望」

オーガナイザー：片岡誠（摂南大学、現リーダー）、森部久仁一（千葉大学、前リーダー）

• 勉強会など

経口吸収FG所属メンバーが要望する経口吸収に関する様々なテーマに特化したシンポジウム（年会非連動型）や勉強会などの開催。

経口吸収FGの活動方針など

- ・ メンバーのメンバーによるメンバーのためのFG
執行部のミッション：

所属メンバーからの様々な要望に全力？で応えること
要望例)

1. シンポジウム、勉強会やRTなどで〇〇をテーマとして取り上げてほしい。
→ 経口吸収に関するテーマであれば、実現に向けて動きます。
2. RTを企画したいが少し不安なので最適な演者を紹介してほしい。
→ FGがサポートしますので是非ともご自身がオーガナイザーになってRTを盛り上げてください。

メンバーに期待すること：

メンバー全員で『経口吸収』研究を更に活性化させましょう。
『経口吸収』に既にどっぷり浸かっておられる方、少し興味をお持ちの方、
駆け出しの研究者の方など様々な方のご所属お待ちしております。
メンバーあつてのFGですから、皆様からの様々なご意見・ご要望を執行部までお知らせください。

※執行部メンバーも随時募集中!! (自薦大歓迎)